

## 平成14年度公開講座報告

セラミックス基盤工学研究センターの平成14年度の公開講座を次のような案内のもとに開催しました。

講座名称：21世紀におけるセラミックスの役割  
- その技術と課題 -

概要：

いま、名古屋工業大学では、「ひとつづくり、ものづくり、未来づくり」という理念を掲げ、21世紀型の新しい大学を目指しています。そして、社会への貢献を、教育と研究に並ぶ重要な役割と位置づけています。その活動の一つとして、セラミックス基盤工学研究センターでは、地域セラミックス産業界の技術者、研究者のためのブラッシュアップ用公開講座を継続的に開催しています。昨年度は、「新世紀セラミックスの基盤技術」と題して、工学としてのセラミックス技術を紹介しました。本年度は、より未来に向かってセラミックスのあるべき姿を共に考えることができると、「21世紀におけるセラミックスの役割 - その技術と課題 - 」と題し、下記のような講義テーマで開催します。講師は新メンバーを含む当研究センター教官のほか、日本科学未来館および北海道大学から魅力的な外部講師を招いています。また希望者に対しては、各教官による詳しい研究内容の紹介および研究室の見学会なども計画しています。企業の新入社員をはじめ、多くの方々の参加を歓迎いたします。

- 5/13 「レオロジー的に眺めたセラミックス」  
(名工大) 鈴木 傑
- 5/20 「セラミックスの粉体形成」  
(名工大) 高橋 実
- 5/27 「セラミックス成形前プロセスにおける界面化学の役割」  
(名工大) 藤 正督
- 6/3 「粉末回折パターンのデコンボリューション」  
(名工大) 井田 隆

- 6/10 「無重力を利用したガラスの研究開発」  
(日本科学未来館) 牧原正記
- 6/17 「自然界に学ぶセラミックス開発」  
(名工大) 太田敏孝
- 6/24 「人工結晶の魅力 - 宝石からエレクトロニクス材料まで - 」  
(北 大) 小平紘平
- 7/1 「高配向性多結晶膜の構造評価」  
(名工大) 虎谷秀穂
- 7/8 「自動車に使われるセラミックス技術」  
(名工大) 小澤正邦
- 7/15 「セラミックス製造と企業の環境活動」  
(名工大) 一伊達 稔

実施責任者：太田敏孝

応募人数は17名と、例年に比べて幾分か減少しましたが、欠席者も少なく、最後まで皆さん熱心に受講されました。また、昨年度に希望のあった研究室の見学会を行い、多数の参加がありました。地元の研究者・技術者に当センターの研究内容をもっと知ってもらい、今後お互いに協力していく一助となると期待しています。

講座終了後行ったアンケートでは、例えば、「『セラミックスの粉体形成』の講義は仕事の内容に近い部分があり、ためになる情報が得られた。」という意見や、「『人工結晶の魅力』に興味を持った」との意見がありました。また、日本科学未来館の牧原博士の講義では「無重力の体感」実験も行われ、受講者の皆さんの少年のような目の輝きが印象的でした。外部講師をお招きした甲斐があり、今後も当センター教官でカバーしきれない部分、最新の面白い話題などを発掘して紹介していきたいと考えています。受講者は全てが同じバックグラウンドを持っているわけではなく、全ての受講者に満足のいく講義は不可能ですが、一部でも関心を持って、また何かしらを得て修了されたと信じます。